

[特集論文]

カリキュラム・マネジメントの視点に立って異分野の学問を概観する ——教科・領域横断的研究はじめの第一歩——

小 谷 卓 也

特集の趣旨

新しい幼稚園教育要領、小・中・高等学校学習指導要領では、「学力」を、各教科で育んでいた「知識・技能」に「思考力・判断力・表現力等」と「学びに向かう力、人間性等」を加えたものと位置づけ、この「学力」の育成のために必要な「資質・能力」が示されました。この「資質・能力」を示した幼稚園教育要領や学習指導要領をもとに、各学校園の実態を踏まえた上で、各学校が教育目標を実現するために、教育課程（カリキュラム）を計画的かつ組織的に編成・実施・評価し、教育の質を向上することを目指します。このことをカリキュラム・マネジメントといいます。これまでの教育課程は理科や算数といった「教科別」に編成されていましたが、カリキュラム・マネジメントの考え方に立脚した教育課程（カリキュラム）では、全ての教科において、従来の教科の学習内容とともに教科の枠を越えた資質・能力をどのように育むのかも検討して構成される必要があります。またその際の重要な3つの事項として、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、(1) 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容を教科横断的な視点で組み立てていくこと、(2) 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、(3) 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと、が求められました。この3つのうちの「(1) 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていく」という考え方と STEAM 教育の重要な概念の1つである「関連型 STEM 教育」及び「統合型 STEM 教育」（「STEAM Lab 紀要（創刊号）創刊にあたって」を参照）の考え方が一致することを踏まえ、STEAM Lab 紀要（創刊号）の「特集論文」のテーマを「カリキュラム・マネジメントの視点に立って異分野の学問を概観する」としました。

「STEAM Lab 紀要（創刊号）創刊にあたって」にも述べさせていただきましたが、今回の特集を是非ご一読いただき、自身の専門領域・分野以外の研究及び実践を知ることで、領域・分野・教科の垣根を越えた「研究交流」及び「新たな知の創造」の生まれる一つ機会となることを願っております。

参考文献

高木展郎：「学力の3要素」をバランスよく育むため、学校全体でカリキュラム・マネジメント推進を」、「VIEW 21」教育委員会版 Vol.4、ベネッセ教育総合研究所、2016。